

2023年12月・2024年1月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

パート・アルバイト希望者の週当たりの希望勤務時間
「11～20時間」が44.7%で最多

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2023/12/01～2024/01/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2023/12/02～2024/02/05（66日間）

調査方法

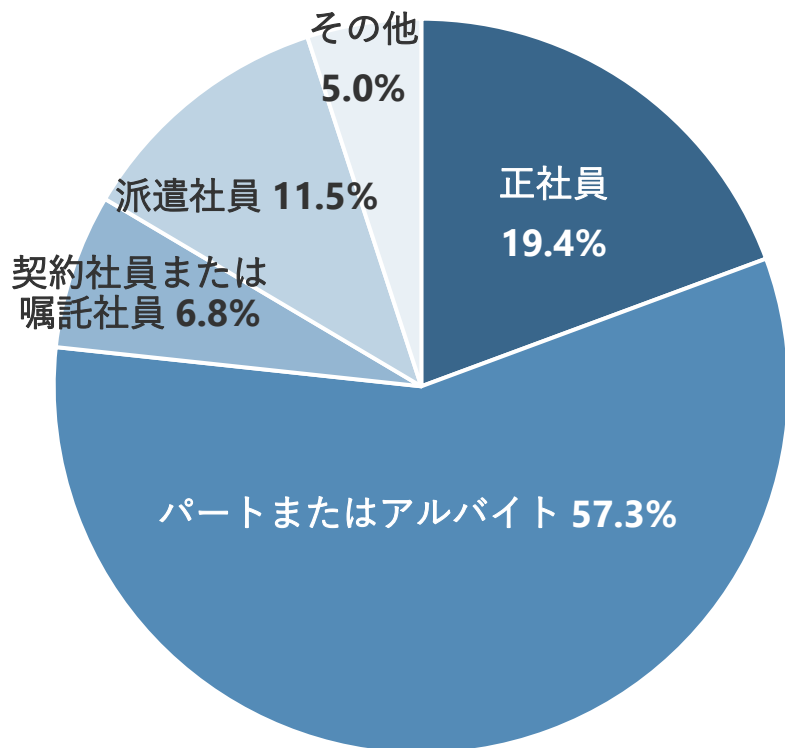
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

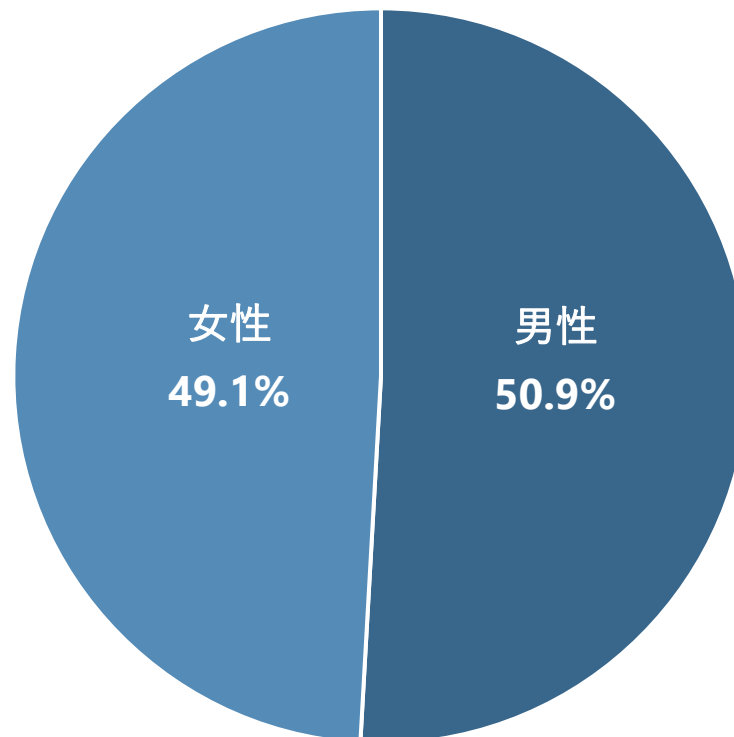
- ▶558件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別

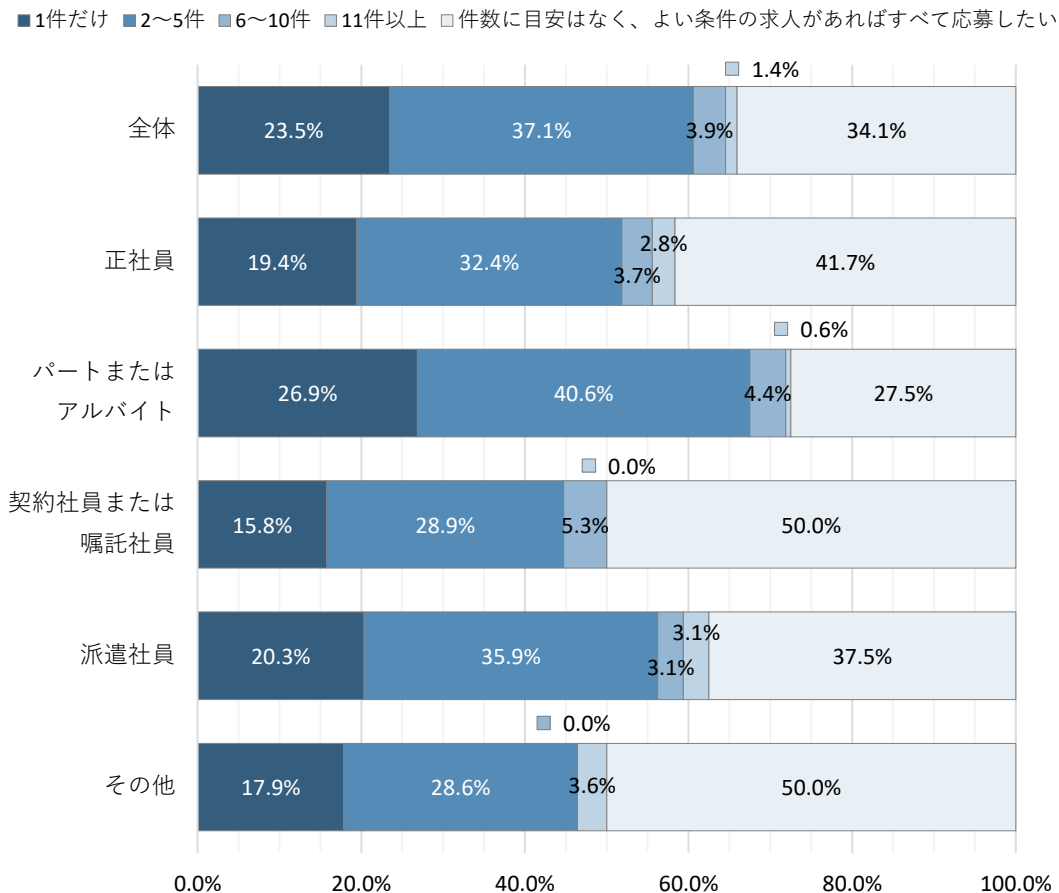


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く37.1%、次いで「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が34.1%、「1件だけ」が23.5%、「6～10件」が3.9%、「11件以上」が1.4%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は8割弱となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、良い条件の求人があればすべて応募したい」の割合は41.7%で最も多くなった。

「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が40.6%応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。

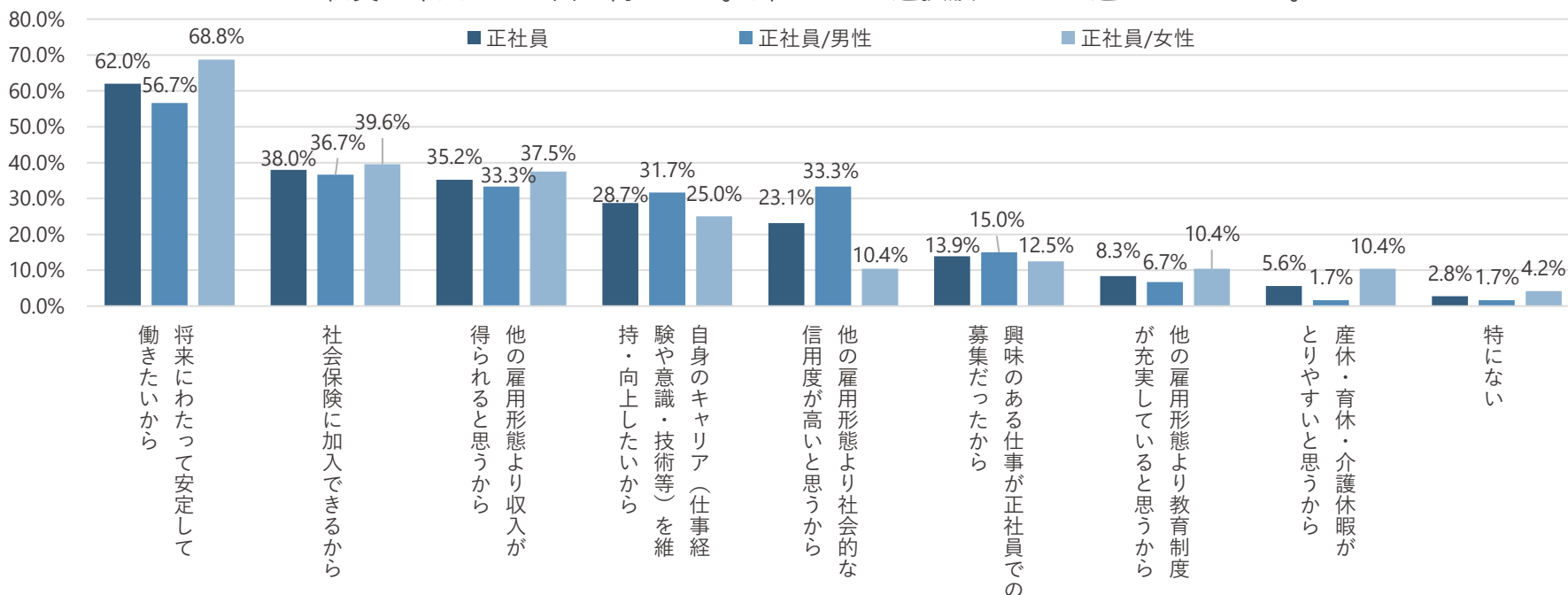


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で62.0%、次いで「社会保険に加入できるから」が38.0%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が35.2%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が22.9pt、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が6.7%高くなった。正社員雇用で信用を高めることができると思う人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が12.1pt、「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」が8.7pt高くなった。ライフイベント両立しやすく、長く勤められる仕事を探しているようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



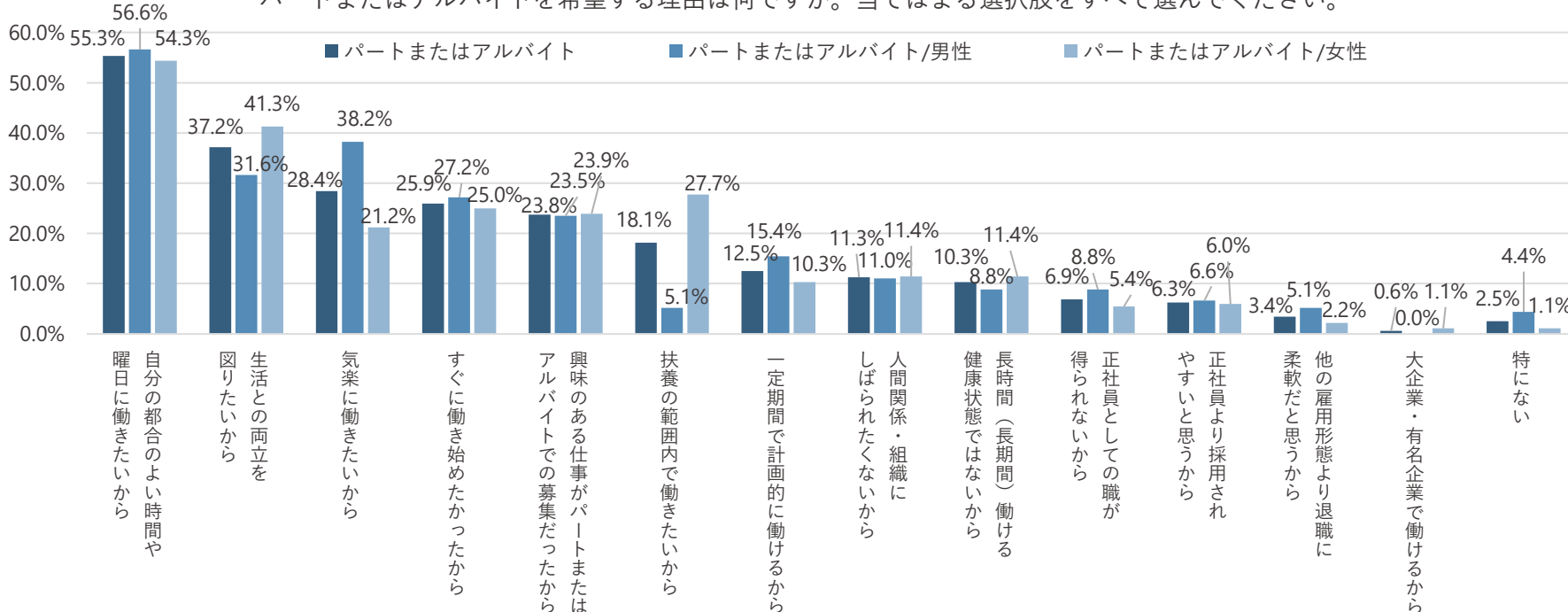
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で55.3%、次いで「生活との両立を図りたいから」が37.2%、「気楽に働きたいから」が28.4%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が17.0pt、「一定期間で計画的に働けるから」が5.1pt高くなった。心身に負担の少ない形で働ける場所を検討している人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が22.6pt、「生活との両立を図りたいから」が9.7pt高くなった。家庭との兼ね合いでパートタイムを希望していたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いことがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



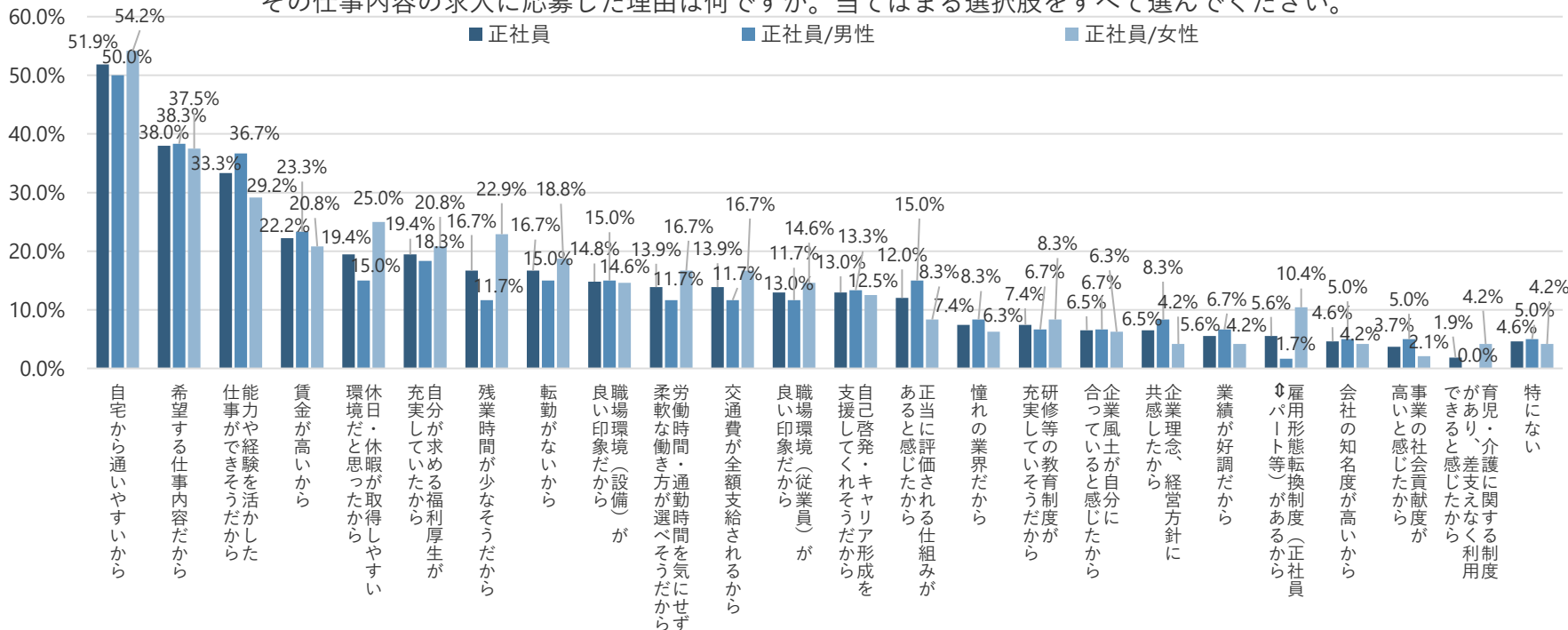
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」が51.9%、次いで「希望する仕事内容だから」が38.0%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が33.3%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が7.5pt、「正當に評価される仕組みがあると感じたから」が6.7pt高くなった。今まで培ってきた力が発揮できる仕事に応募した人が多くいることがわかる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「残業時間が少なそうだから」が11.2pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が10.0pt、「雇用形態転換制度（正社員⇄パート等）があるから」が8.7pt高くなった。私生活との両立を考慮した仕事に、男性よりも支持が集まっているようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



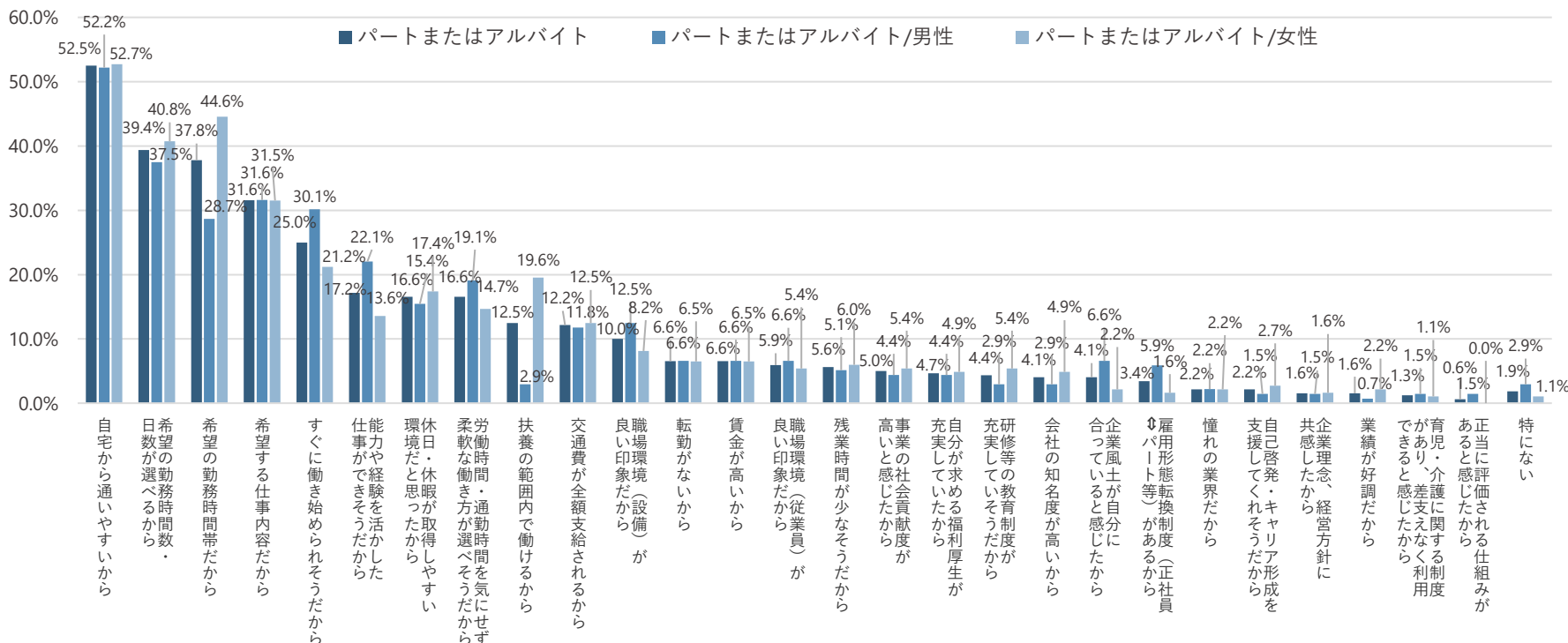
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で52.5%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が39.4%、「希望の勤務時間帯だから」が37.8%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が8.9pt、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が8.5pt高くなった。取り急ぎ仕事ができる環境を求めている人や、自身の能力が活かせる職場に応募した人が多い。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が16.7pt、「希望の勤務時間帯だから」が15.9pt高くなった。勤務時間や収入など、働ける範囲に制限がある中で、従事できる仕事を探していることがわかる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



週当たりの希望勤務時間

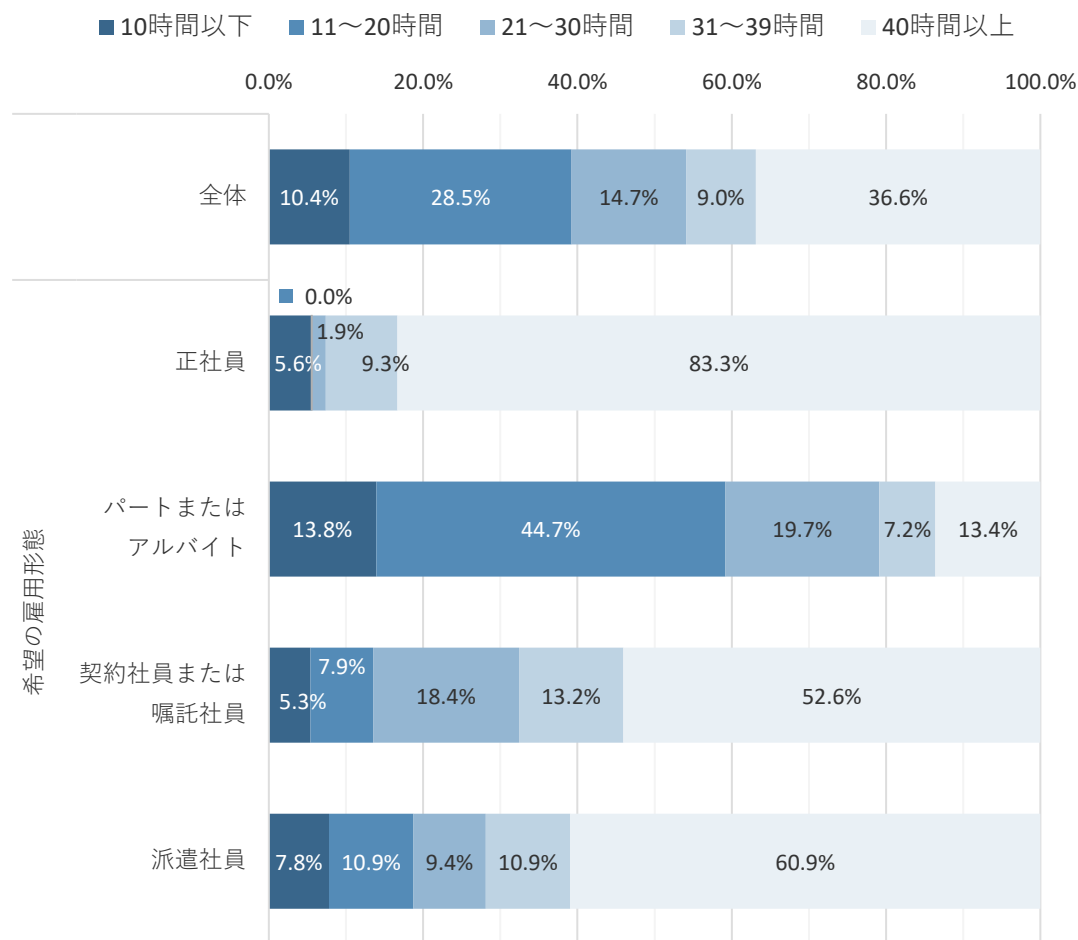
イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、週当たりの希望勤務時間をきいた。全体では「40時間以上」が36.6%、「11～20時間」が28.5%、「21～30時間」が14.7%、「10時間以下」が10.4%、「31～39時間」が9.0%となった。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「40時間以上」が83.3%で、8割以上となった。いわゆる、フルタイムでの勤務を希望している人が大半であることがわかる。

「パートまたはアルバイト」を希望する人では、最も多かったのが「11～20時間」が44.7%、次いで「21～30時間」が19.7%となっている。パートまたはアルバイトでの勤務を希望する人には、扶養の範囲内での勤務を希望する人も多いが、「40時間以上」を望む人も一定数おり、一概に短時間を望んでいるわけではないことがわかる。

「契約社員または嘱託社員」や「派遣社員」を希望する人では、「40時間以上」を希望する割合が半数以上だった。正社員を希望する人でなくとも、より多くの時間働きたいという声は少なくないようだ。

今回の仕事探しで見つけたお仕事では、週に何時間程度働きたいと考えていますか。



近年、正社員採用の労働条件に週休3日制を採用する企業が増えてきた。ただ週休3日制と言っても、実際は運用方法が複数ある。イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、週休3日制の運用方法は次のどの形が理想かきいた。

週休2日制を取り入れている場合の一般的な給与・労働時間と比較して、休んだ日数分の給与は支給されない「給与減額型」、給与は据え置きだが総労働時間は変わらず出勤日の労働時間が伸びる「総労働時間維持型」、給与据え置きかつ1日の労働時間も変わらない「給与維持型」の3択できいた。

全体で最も多かったのは「給与維持型」の64.9%、次いで「総労働時間維持型」の19.9%、「給与減額型」の15.2%となった。希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「総労働時間維持型」（25.9%）が、全体で見たときよりも割合が高くなっているようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「給与維持型」の支持が他の年代より少なく（48.8%）、「総労働時間維持型」を選ぶ人が多かった（32.9%）。稼働日に集中して業務に取り組むスタイルが選ばれやすいようだ。

週休3日制、理想はどの型ですか？

